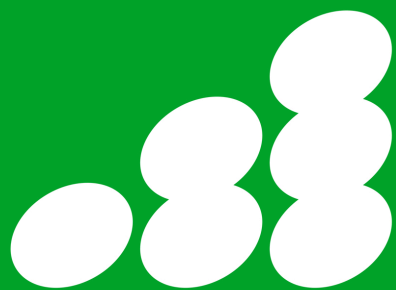


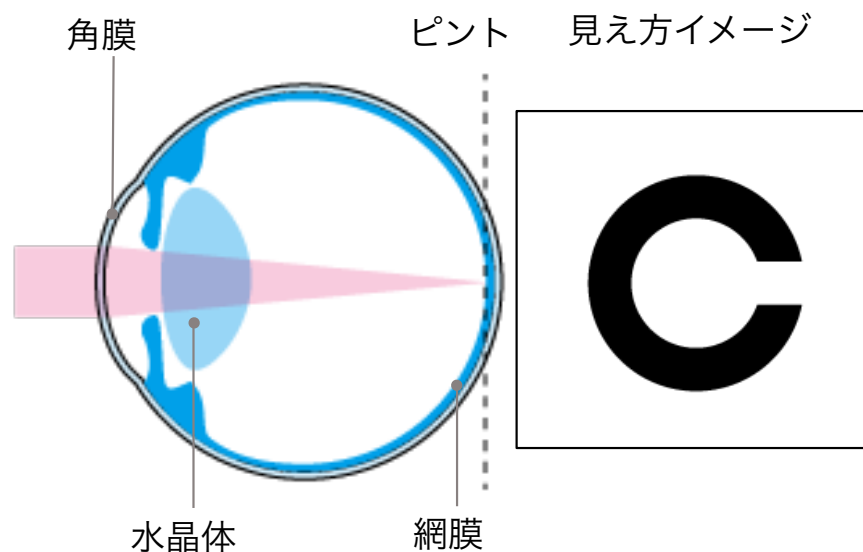
オルソケラトロジー 治療に関して



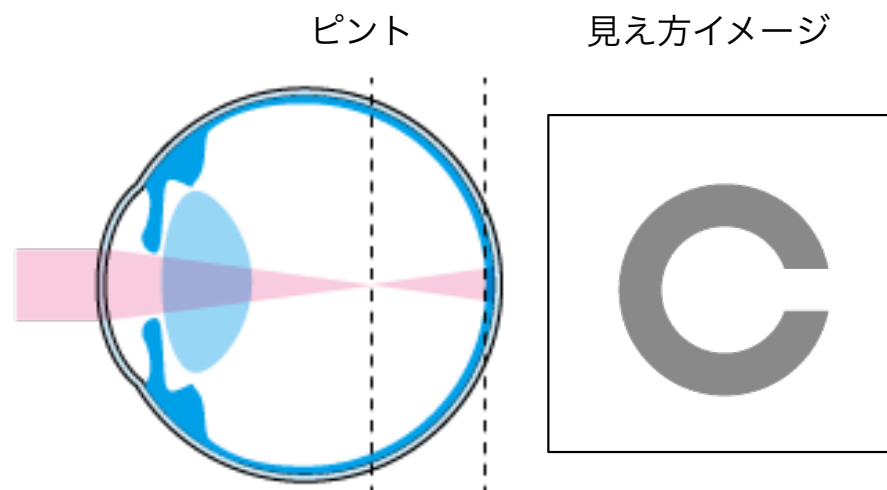
たける眼科
TAKERU EYE CLINIC

■近視とは…？

正視



近視



遠くから入ってきた光が、カメラのフィルムの役割である網膜よりも近くでピントが合う状態のことを「近視」といいます。

そのため、近くははっきり見えますが、遠くがぼやけて見えてしまいます。

■近視の矯正方法の主な種類

メガネ

メリット

- ・付けはずしが簡単である
- ・目薬が使える

デメリット

- ・激しいスポーツでは、あまり適さない
- ・寒暖差があると曇ったりする
- ・視界が狭い



コンタクトレンズ

メリット

- ・メガネと比べて視界が広がる（裸眼と同じ視界）
- ・強度な近視、遠視を矯正できる

デメリット

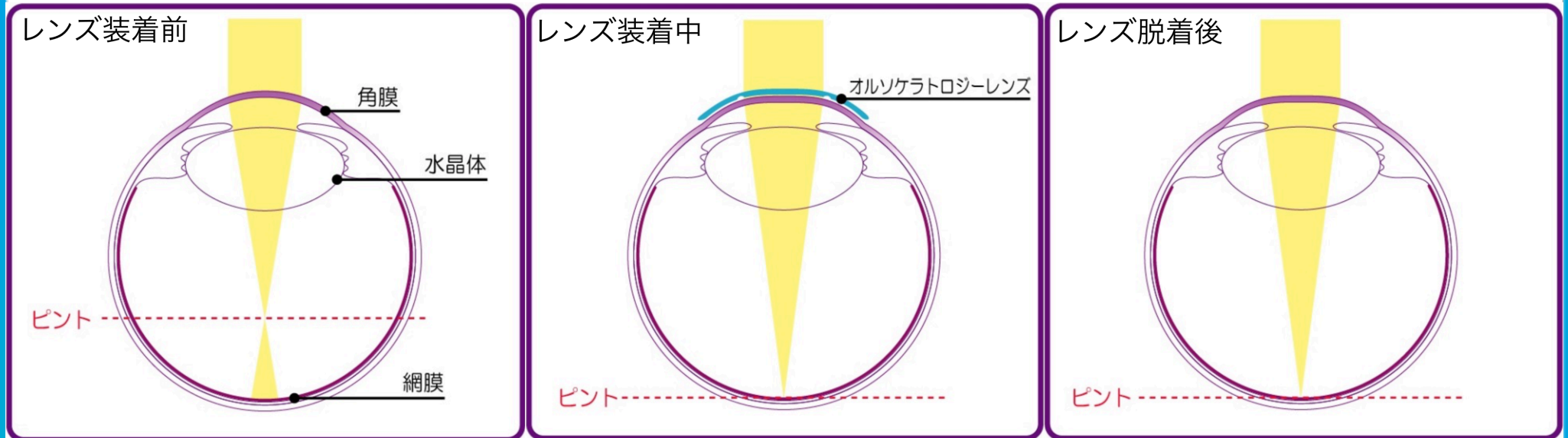
- ・ケアや取扱いに注意が必要
- ・なくしてしまうとすぐに対応できない
- ・装用時間が限られている



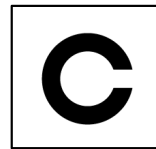
その他の矯正方法として、レーシック（LASIK）、眼内コンタクトレンズ（ICL）なども存在しますが手術が必要であったり、手術後、もとの状態に戻らなかったりと身体的負担も大きいことがハードルとして挙げられます。

■ オルソケラトロジー治療とは…？

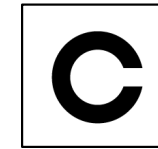
就寝時に特殊なカーブをもつコンタクトレンズを装着することで、日中は裸眼で生活できる視力矯正方法です。



通常は光が角膜と水晶体の屈折力により、網膜上で焦点を結びますが、近視の状態である場合、網膜より手前で焦点を結ぶために像がぼやけて見えます。



「ブレスオーコレクト」を就寝時に装用することにより、特殊な内面カーブが角膜前面の形状を変化させ、扁平化することにより焦点が網膜上で結ばれ、像がはっきり見えます。



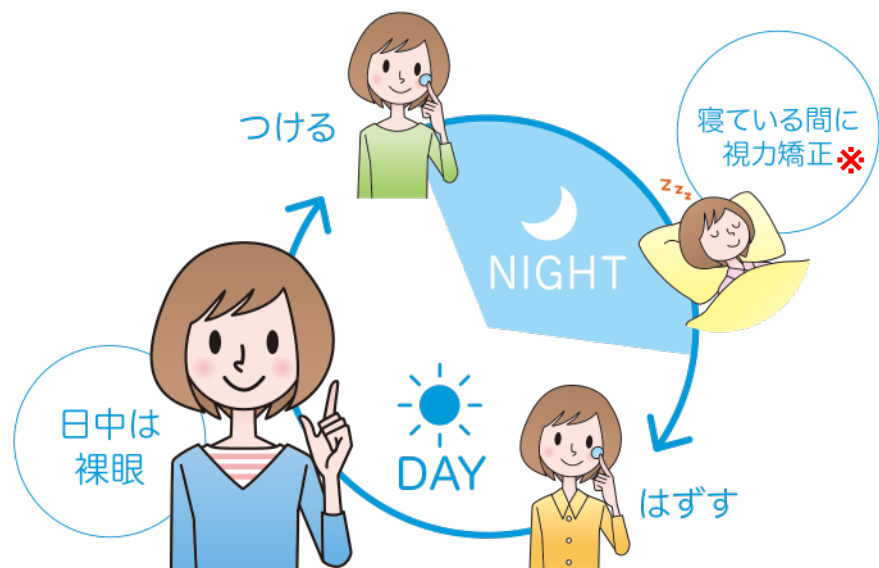
「ブレスオーコレクト」によって扁平化された角膜前面は、レンズをはずしても一定時間形状が維持されるため、日中は裸眼視力が改善されます。

※一時的に角膜を矯正する治療なので、治療を中止すると角膜はもとに戻ります。

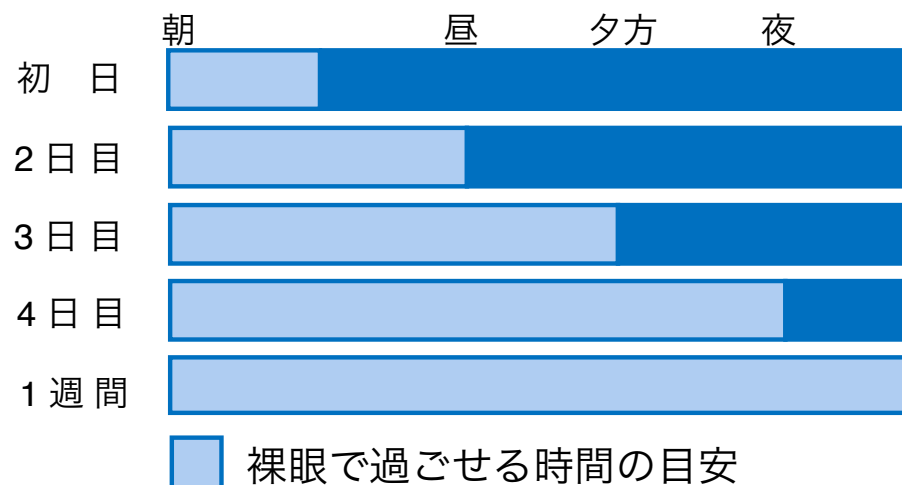
■治療サイクルと、見えるようになるまで

治療開始初日から見えるようになりますが、朝から晩まで安定した視力が出るには、約1週間ほどかかると言われています。

治療のサイクル



裸眼で見えるようになるまで



※装用時間は5時間以上を目安としています。治療には、一定の連続した就寝時間の確保が必要です。

※視力が安定した後も、ハロー、グレア（にじみ、ぎらつきなど）等が出現することがあるため、車あるいはバイクの運転等では、十分に注意が必要となります。

■ オルソケラトロジー治療に向いている人、向いていない人

向いている人

- ・スポーツを行っている方
- ・メガネやコンタクトレンズの装用が煩わしい方
- ・裸眼で過ごしたいが、外科的手術に抵抗がある方
- ・眼疾患を有していない方
- ・通院可能な方
- ・近視度数が-1.00~-4.00Dの方
- ・乱視度数が大きくない方※

※乱視は球面度数の1/2以下、ただし倒乱視の場合、近視度数の1/2以下かつ、-0.75D以下の方



向いていない人

- ・眼科専門医の指示に従うことができない方
- ・一定の睡眠時間が取れない方
- ・近視度数、乱視度数が強い方
- ・職業上、常に適正な視力が必要で視力の変化があった時に業務の中止ができない方
- ・レーザー角膜屈折矯正手術を受けた方
- ・極度に神経質な方

メリット

起きたらすぐに見える！



コンタクトの乾燥による目のゴロゴロ感がない！



手術が不要！



- ・若年層における近視の進行を抑制できるとした研究結果もあり、効果も期待される（注1）

注1) 参考文献：Si JK, Tang K, Bi HS, et al : Orthokeratology to myopia control : a meta-analysis. Optom Vis Sci,92 : 252-257, 2015.

：Sun Y, Xu F, Zhang T, et al : Orthokeratology to control myopia progression : a meta-analysis. PLoS One, 9 ; 10(4) : e0124535, 2015.

：Li SM, Kang MT, Wu SS, et al : Efficacy, Safety and Acceptability of Orthokeratology on Slowing Axial Elongation in Myopic Children by Meta-Analysis. Curr Eye Res, 3 : 1-9, 2015.

※検査結果によっては、治療が受けられない可能性がありますので、予めご了承ください。

■治療スケジュール

角膜の形状を扁平化させる為、治療開始後は定期的な通院が必要となります。

初日

初日<所要時間：約2時間>

- ①治療の説明
- ②適合検査・診察※1（治療が可能か否かの判定）
- ③治療可能な場合、お試し装用を開始

※1 治療の開始に際し、角膜の状態を正確に測定する為、コンタクトレンズの利用を控えていただく必要があります。（使い捨て：3日、ハードコンタクトレンズ：2週間）

翌日

お試し装用後翌日<所要時間：約30分>

- ①検査

1W

1週間後<所要時間：約30分>

- ①検査
- ②治療用レンズ発注、本治療開始

2W

2週間後<所要時間：約30分>

- ①検査

1M

1ヵ月後<所要時間：約30分>

- ①検査

3M

3ヵ月後<所要時間：約30分>

- ①検査

■費用

自由診療（税込価格）

適合検査のみ：¥5,500

お試し期間：

両眼¥55,000／片眼¥33,000（現金のみ）

（1週間目までの検査・診察代、保証金、

トライアルレンズ使用料、初期導入セット・ケア用品込）

初年度

両眼¥110,000／片眼¥66,000

（レンズ代、1年間の検査・診察代・管理費込）

2年目以降（1年毎に）

両眼／片眼¥22,000（1年間の検査・診察代・管理費込）

* 概ね2年毎でレンズ交換（両眼¥66,000／片眼¥33,000）

保証

度数の変更 購入日より6ヶ月以内に左右ともに1回のみ

破損交換 購入日より12ヶ月以内に左右ともに1回のみ

（破損レンズが半分以上必要）

紛失時 ¥33,000円（1枚）

■安全にご利用いただくために

□必ず予定通り来院していただく

→眼障害をおこしたり、レンズの破損、キズの原因になることがあります。

□レンズを扱う際は手を洗う

→レンズにキズ、汚れ、雑菌がつき、眼障害の原因となる可能性があります。

□水道水で保存しない

→感染症の原因となる場合があります。
専用の保存液をご利用ください。

□レンズ装用中は目を強くこすったり、 押したりしない

→眼障害をおこしたり、レンズの破損、変形、キズの原因になることがあります。



□指定したケア用品を使用する

→ポピドンヨードを含有し、緑膿菌・アカントアメーバ感染に対しても唯一除菌効果のある製品を使用。

□レンズケースも定期的に交換する

→必ずオルソケラトロジー用のケースを使用。
(量販店・インターネット購入で付属するケースは通常のハードコンタクトレンズ用です)



■治療費用に関して

オルソケラトロジー治療は公的医療保険が適用されませんので、「自由診療」となります。費用に関しては、別紙記載の料金表をご参考ください。

※医療費控除申請に関して

オルソケラトロジーの治療は、眼鏡やコンタクトレンズのような視力矯正ではなく、治療です。従って医療費控除申請の対象となります。（購入時の領収書は保管が必要になりますので、大切に保管ください。）

詳しくは検索▶

国税庁 医療費控除

検索

■治療を開始するにあたって

医師またはスタッフによる十分な説明を受けたうえで、治療内容に同意いただいた場合に開始となります。ご不明点等ございましたらお気軽にご質問ください。



オルソケラトロジーで快適な裸眼生活を！

■ レンズのつけ方

手洗い



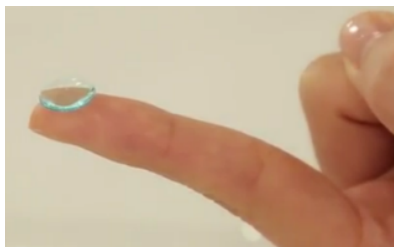
- レンズを取り扱う前にはしっかりと手洗いを行います。指先、爪の間、指の間、手首までしっかり洗います。
- 爪は短く切っておいてください。爪が伸びている場合、レンズに傷をつけてしまう恐れがあります。

レンズすすぎ/洗浄



- レンズをすすぐ際は、レンズをホルダーに差し込んだまま水道水で十分にすすぎます。
- レンズを洗浄する際は、レンズを手のひらにのせ、洗浄保存液をレンズに数滴落とし、レンズ両面を丁寧に15秒程度洗浄します。

人工涙液等を
たらす



- 利き手の人差し指の先にレンズを乗せ、人工涙液等を数滴たらしめます。その際、空気（気泡）が入らない様に注意してください。
- 空気が入ってしまった場合は、再装用します。

レンズをつける



- レンズを装用する際は、鏡を下に置き、空気（気泡）が入らない様に顔を下に向けた状態でゆっくりレンズを装用してください。
- レンズをゆっくりと目に近づけ、黒目の上にそっとのせてください。

- レンズをつける際は、人工涙液の入れ忘れや、空気(気泡)の混入に注意してください。
- 詳しい内容については、取扱説明書をご参照ください。

■ レンズのはずし方

手洗い



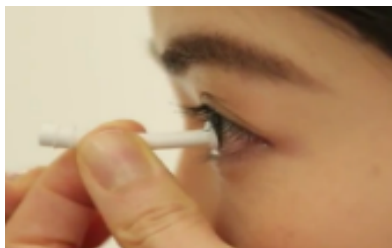
- レンズを取り扱う前にはしっかりと手洗いを行います。指先、爪の間、指の間、手首までしっかり洗います。
- 爪は短く切っておいてください。爪が伸びている場合、レンズに傷をつけてしまう恐れがあります。

レンズ確認



- 朝起きた後はレンズがはずしにくい場合がありますので、レンズをはずす前には人工涙液等を点眼して、レンズが動いていることを確認します。

レンズをはずす



- 一般のハードコンタクトレンズの外し方では外しにくい場合がありますので、スポイトを使用してはずします。
- スポイトをレンズの中央よりやや周辺に軽く押し付け、ゆっくりとレンズをはずします。

レンズ洗浄

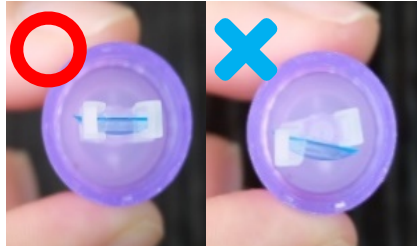


- レンズをすすぐ際は、レンズをホルダーに差し込んだまま水道水で十分にすすぎます。
- 洗浄保存液をレンズに数滴落とし、爪がレンズに触れないようにレンズ両面を丁寧に15秒程度洗浄します。

- スポイト：使用後は水道水で洗浄し自然乾燥させ、3か月に1回交換してください（角膜感染症予防）。
- 詳しい内容については、取扱説明書をご参照ください。

■ レンズ取扱い時の注意点

レンズケース
収納①



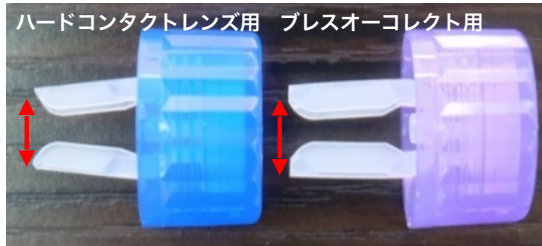
- レンズがきちんとホルダーに収まっていないとレンズが脱落する場合があります。

レンズケース
収納②



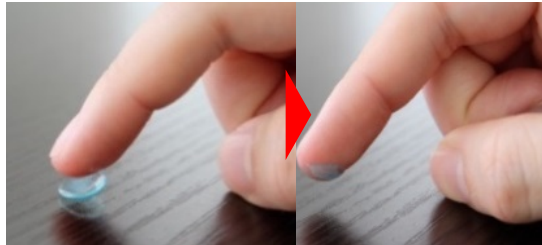
- レンズをケースのフチにぶつけると破損の原因となります。

使用レンズケース



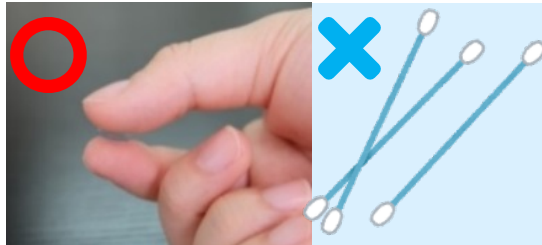
- 必ず専用のレンズケースを使用します。
- 一般のハードコンタクトレンズ用レンズケースを使用するとサイズが異なるため、破損・歪みの原因となります。

レンズの拾い方



- レンズを拾う時は、人差し指を水で濡らし、レンズに触れ吸い上げます。
- 無理に拾おうとするとレンズをこすりつけ、キズの原因になる場合があります。

レンズの
持ち方・洗い方



- レンズは破損しないよう指で軽く持ちます。
- レンズを縦に持ったり、強く持ったりすると変形の原因になります。
- 指以外(綿棒等)でレンズを洗浄しないでください。

- レンズケース：使用後は水道水で洗浄後自然乾燥させ、1ヶ月に1度交換してください（角膜感染症予防）。